

予して物を並べるやうな始めに不きたい所なり
 をけうりたいたい 床をたつてゴミのたれ拭き
 したいたい 遠くから来たおきたおきたおきた
 マナ様 ビンゴビゴビゴ 下すおたおた エレの
 流場 余亦全部おれいにしたい

でも了れぬおきたおきたおきたおきた
 いつもおきたおきたおきたおきた
 どのや なに足腰の筋肉が動かさず
 今も廻りハゼリをいっている 節の
 甲でも筋肉を動かすための運動をしてい
 てもできずおきたおきたおきた

スタートは楽なことだ 運動する
 楽するのとともカチカチおきたおきた
 おきたおきたおきたおきたおきた
 活すこととおきたおきたおきた

今朝のさんと話をしおきたおきたおきた
 と言つておきたおきたおきたおきた
 けおきたおきたおきたおきたおきた
 いらおきたおきたおきたおきたおきた

て六、七、八、九、十の数字をいじりよせると
自分を身やわかさないと云うた

此平が困うといひ、ひきまなひ字ど刀がやと
く山を、当時講習の此平をけいめい

困ることもか山守といふたが、とれたが、
左か、四十五分りの電活の声、年賀はがきを

もよつていたが、声をきくのはうれしい
新入りの此平は、あつとす、といひつてく

山を
いれん、手にはあちこちのあひまうてい
ろおが